

「亀田郷水土里の路ウォーキング」 開催される

新潟農地事務所，農地管理課，農地計画課



去る10月26日(日)「亀田郷水土里の路ウォーキング」が、水土里ネット亀田郷、同新潟主催、関係市町村、国営事務所、県農地部等の協賛で開催され、農地部職員もスタッフの一員として参加してきました。

この「水土里の路ウォーキング」は、今年度から農業農村の多面的機能、土地改良施設の役割などを一般の方、特に都市住民の方々に理解してもらうことを目的に、全国各県で開催されており、本県においては亀田郷での開催となりました。

ウォーキング当日は、天候が心配されましたが、前日の雨も止み、少々風が強く肌寒いものの、秋晴れとなりました。コースは鳥屋野潟を中心として途中、数カ所の土地改良施設がチェックポイントとして組み込まれた、約10kmの水土里の路が設定されました。

午前9時、スタート地点の水土里ネット新潟(県土連)ビルで開会式が行われ、続いておよそ200名の参加者が、完走を目指し一斉にスタート。途中、清五郎、新堀排水路などに設けられたチェックポイントでは、農業農村整備事業に関するPRやクイズ、折り返し地点の親松排水機場においては、普段入ることのできない排水機場内部の公開とともに職員による説明やパネル展示などもあり、参加者がパネルを覗き込んだり、熱心に質問している姿が見られました。



親松排水機場からの帰り道は、紅葉に染まる鳥屋野潟公園散策路、当日開催されるアルビレックスのゲームで賑わっているビッグスワンを通り、スタート地点へと戻りました。ゴール後は、参加者全員に豚汁とおにぎりが振る舞われ、ナシと新米のおみやげを手に満足そうに帰っていく姿が見られました。

参加者からは、水土里ネットに関する質問や、「亀田郷の排水改良の歴史を改めて認識した」などの言葉もあり、ウォーキング開催の目的が達成されたことに、スタッフ一同大満足でした。